

# ノリタケ無機系合成木材

## PEARL BOARD パールボード

無機系合成木材「パールボード」は下記の優れた特性を持ち、CFRPの成形型材として最適です。従来の有機質ベース素材の合成樹脂木材と異なり、ケイ酸カルシウムを主材とし、合成樹脂、ガラス繊維などからなる、無機質ベースの成形板です。従来の合成樹脂木材に代わるモデル用板材として開発され、小ロット生産、試作型、治工具型として使用されています。



### ■ 特長

#### ・加工性に優れる

切断、切削、穴あけ等、木工用機械工具が使用でき、加工作業が容易です。

#### ・寸法安定性に優れる

木材の欠点である、吸湿・吸水・加熱による寸法変化が少なく、木目・節目がない。

#### ・耐熱性に優れる

切削・切断、加工時の熱変形がなく、手加工・NC加工に適しています。

#### ・軽量である

ほぼ木材並の軽さです。

#### ・変質・腐朽・虫害の心配がない

主成分が無機質であり、変質が少なく、木材の様に腐ったり、虫害の心配はありません。



### ■ 成分

#### ・主成分：ケイ酸カルシウム

#### ・その他含有成分：合成樹脂、ガラス繊維、結晶質シリカ（石英）

提供：  
東京R&Dコンジット工業株式会社

### ■ サイズ

品名	パールボード
サイズ① (mm) (納入単位)	1230×930×50 (1枚から対応可)
サイズ② (mm) (納入単位)	1230×930×50 (18枚/パレット積)

### ■ 特性

品名	パールボード
かさ比重	約0.6
気孔率 (%)	約60
曲げ強度 (N/mm <sup>2</sup> )	10±1
耐熱温度 (°C)	約150以下
熱伸縮性 (%) (180°C加熱時)	±0.02

注) 使用条件によって、耐熱温度は変わる場合があります。

### ■ 他材料との比較

材質	特性	熱膨張係数 (mm/mm・°C)	吸水後寸法変化 (水中60分保持・%)	吸湿寸法変化 (45°C 100%RH・%)
パールボード		6.5×10 <sup>-6</sup>	±0.01	±0.01
石膏		17×10 <sup>-6</sup>	±0.05	±0.06
樹脂系合成木材		(30~60)×10 <sup>-6</sup>	—	—
ヒノキ (縦方向)		—	+0.07	+0.10
(横方向)		—	+1.80	+1.20
ヒメコマツ (縦方向)		—	+0.10	+0.17
(横方向)		—	+1.00	+0.73
アルミニウム		24×10 <sup>-6</sup>	—	—